

## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

学位申請者	鈴木京子【論文博士】 (人間発達科学専攻 平成17年3月単位修得退学)	要 旨
論文題目	教員の異文化体験 —異文化適応・人間的成長・教員としての成長—	<p>本論文は、海外派遣教員を調査対象として、どのようなプロセスを経て異文化接触が人間的成長や教員としての成長に貢献するのかを明らかにすることを目的としたものである。</p> <p>調査対象としては外国教育施設日本語指導教員派遣事業(REX プログラム)によって日本から海外の中等学校に派遣された経験を持つ26名の現職教員が選ばれた。現職教員が異文化での体験をどのように理解して解釈しているのかが重要になるために解釈的アプローチを採用し、修正版グラウンデッド・セオリーを用いて、海外派遣教員たちが日本との差異にどのような評価・感情を持ったか、その結果どのような成長に結びついたのかという点を中心にカテゴリ分析が行われた。</p> <p>その結果、異文化接触においては、ゲスト（ここでは派遣教員のこと）が「肯定的な評価・感情」に基づく「ゲストの変化」を経て人間的成長を遂げること、「ゲストの変化」と「自己の振り返り」から導かれる「人間理解の深化」、「バイカルチュラリズムの萌芽」、「新たな目標の設定」という流れからなる主に認知面での人間的成長のプロセスが明らかされた。さらに、ゲストが人間的成長を遂げることによって、「教育技術上の変化」や「自己受容感の育成」という「心理的な変化」が起こり、「教員としての成長」も促進されていたことが示された。</p> <p>第1回審査委員会（平成25年10月21日）では、本論文が教員の異文化体験について研究の枠組みや研究に使われた概念や方法、インタビューデータや図表の示し方等について指摘や疑問が出された。</p>
審査委員	(主査) 准教授 浜野 隆	
	准教授 富士原 紀 絵	
	教授 佐々木 泰 子	
	教授 米 田 俊 彦	
	教授 池 田 全 之	